



松原市長(左)に誓いの言葉を渡す
出光歩さん(中央)、田中舞さん

819人が大人の仲間入り

狛江市の成人式が1月14日、エコルマホールで催され、参加した新成人たちは社会人としての決意を新たにしていた。

同市の新成人は昨年より19人多い819人で、式典には現在市外に住む参加希望者を含め、昨年より39人多い474人が参列した。

公募した新成人13人が実行委員(若本悠雅実行委員長)として昨年9月から企画立案などの準備を進め、司会など式典の運営も担当した。

第1部では、松原俊雄市長が「成人おめでとうございませう。ことしは新しい元号に代わり、まさに平成最後の成人式となります。新しいことにスタートする時は不安はありながらも、やる気に満ち溢れ、目標を立てている方が多いと思います。その気持ちを大切に、新しいことにチャレンジしていただきたいと思います。最近では人生100年とも言われています。本日、大人としての第一歩を踏み出されたみなさんが、さまざまな経験をしながら実りある人生を送っていただけることを祈念します。狛江市は『人にやさしいまちづくり』を市政の根幹にすえ、日本一やさしいまち、狛江をみなさんと一緒に実現していきたい」と式辞を述べた。

これに対し、新成人代表の出光歩さんと田中舞さんが「ノーベル賞受賞者の本庶佑さんの座右の銘『有志竟成』から日々努力を重ねていく大切さを改めて学びました。長い間努力を重ねていくことは楽ではありませんが、新成人の私たちは新しい時代の先頭に立つ大人としての自覚と大きな夢を持ち、あらゆる分野で活躍することを誓います」と誓いの言葉を述べた。

第2部では、小・中学校の行事の写真や恩師からのビデオレターの上映、テーマパークのペアチケットなどが当たる抽選会に加え、「新成人の主張」が行われた。友人らにサポートされ車いすで参加した赤坂航さんは「事故で高校1年生から車いす生活になりましたが、友達に支えられて出席でき、うれしい。小・中学時代の同級生と久しぶりに話ができ、楽しかった」と喜んでいました。岩本実行委員長は「平成最後の式典を盛り上げるため準備は大変でしたが、参加者に楽しんでもらえ、スムーズに運営できて良かった」と話していた。

日曜夜に親子カフェ 福祉2団体がコラボ

NPO法人狛江子ども食堂が、障がい者支援団体「ハンズプレイス」が運営しているカフェ(和泉本町



試験的に行ったカフェで
食事を楽しむ親子連れ

1-25-5 シャテロF102)で、今月から2回、日曜日の夜に「親子カフェ」を始める。

家族の団らんとさまざまな人との出会いが目的で、2月は10日・17日の午後6時から8時まで。主菜と副菜2、3品をワンプレートで提供。料金はおとなが1,000円で子どもは無料。

ハンズプレイス・カフェは、聴覚に障がいのある人たちの交流と居場所づくりを目的に昨年9月にオープン。お茶やランチ、手作り菓子を提供している。

親子カフェは、2つの団体が昨年秋から話し合い、12月に試験的に開催して参加者から「子連れで落ち着いて食事ができた」などと好評だったため、本格実施に移すことにした。

親子カフェは、2つの団体が昨年秋から話し合い、12月に試験的に開催して参加者から「子連れで落ち着いて食事ができた」などと好評だったため、本格実施に移すことにした。

こまほっとカフェ 高齢者が気軽に交流

こまほっとカフェが都営狛江アパート(狛江団地)の第一集会所で毎月2回開設している「こまほっとカフェ」が高齢者に好評だ。

地域の人たちがゆったりと過ごし、気軽に交流できる場を目指して昨年5月から開設されており、団地だけでなく、市内各所から毎回20人ほどが参加してい

る。参加者は70代が中心で、90代の人もある。



カフェは午前10時から午後2時30分まで、集まった高齢者は用意されたコーヒーやお茶を飲んだり、お菓子を食べたりしてなごやかに歓談する。また、昔の歌謡曲などを聞きながら、トランプ、将棋、オセロなどのゲームに興じる。世田谷区の訪問看護ステーションのスタッフが簡単な体操を指導したり、介護支援専門員がさまざまな相談に乗ることもある。

同苑ではNPO法人フードバンク狛江など福祉関係団体との連携を深め、将来は対象年齢を子どもにも拡大、多世代が交流できる拠点にしたいと話している。

親子で農業体験 JAマイズが募集

JAマイズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。

都市農業への理解など、食農教育を目的として猪方3丁目の畑でJAの職員と一緒にジャガイモと枝豆を栽培して収穫するもので、日程は3月23日田施肥・畝づくり・種まき、4月27日田除草作業等、6月15日田収穫・片付けの3回(天候などで変動の可能性あり)の午前中。対象は狛江市内の幼児・児童と保護者で、定員10組(応募多数の場合は抽選)、参加費は1人110円(傷害保険代)。

申し込みは2月28日困までに☎3488-3435からFAX3488-2830でJAマイズ狛江支店へ。



寒い季節。歩いてあたたまる。カフェであたたまる。 狛江カフェ散歩スタンプラリー

狛江の街を歩いて、市内各所にある魅力にあふれたカフェを多くの人に知っていただくことを目的に、市内のカフェを巡るスタンプラリーを実施します。

イースト、ウェスト、セントラルの3つのエリア各4店舗、計12店で開催。集まったスタンプの数に応じて賞品をゲットできます。

スタンプは、狛江の魅力いっぱいあふれた「消しゴムはんこ」。今春で第9回を迎える岩手県盛岡市の「もりおか中津川まち歩きスタンプラリー」のはんこに温かみを感じ、狛江でもこのはんこを使って盛り上げたいと思い、紙町銅版画工房に依頼して制作しました。どこにどんなはんこがあるかは、お楽しみ。

実施期間 2月1日(金)～3月15日(金)

実施内容 スタンプブック(無料)を入手し、参加店で代金精算時にスタンプを1つ押印してもらう。集めたスタンプの数に応じて賞品をもらえる。

スタンプブック設置場所 参加店、狛江駅、和泉多摩川駅、各地域センター、中央公民館、西河原公民館、あいとぴあセンター、市民総合体育館、市役所2階(地域活性化課)

賞品 最大3つの賞品をもらえる。

【各エリア2店舗制覇賞】ふるさと友好都市長岡市川口地域のお米2kg=先着50人

【各エリア2店舗制覇賞】オリジナル刺しゅう入り今治タオル=先着150人

【1エリア制覇賞】オリジナルエコバッグ(スタンププリント)=先着200人

受付期間 2月1日(金)～3月15日(金)

受付場所 市役所2階 地域活性化課(平日午前8時30分～午後5時)

特別賞「ハッシュタグ賞」 イベント期間中、自身のTwitterまたはInstagramに、本事業に関わる写真を「#狛江スタンプラリー」で投稿した人が対象。イベント終了後、厳正な審査を行い1人にサーモステンレスボトルをプレゼント。

問い合わせ ☎3430-1111 狛江市地域活性化課地域振興係。



オリジナル刺しゅう入り今治タオル

オリジナルエコバッグ



スタンプブックを
手に入れよう!

実施期間
2月1日(金)～3月15日(金)

狛江カフェ散歩スタンプラリーエリアマップ・参加店



エリア	店舗名	住所	電話
ウェスト	① Kenko Coffee	中和泉5-26-5, B1/1F	5497-3766
	② ぼえむ狛江南口店	東和泉1-20-2 1F	5761-5569
	③ The BACKYARD CAFE	東和泉1-21-6, へーベルK1F	5761-8460
	④ Quality Season	東和泉4-11-21 BLUE多摩川 アウトドアフィットネスクラブ内	3430-3117
セントラル	⑤ ハンズプレイス・カフェ	和泉本町1-25-5 シャテロF102	6326-0175
	⑥ カフェ マメフク	和泉本町1-35-3 1-B	5761-5733
	⑦ コマエカフェ	中和泉1-2-1 (1F・2F)	5761-7138
	⑧ Snowdrop	和泉本町1-2-6 2F	080-4458-4396
イースト	⑨ la felicità di tutti	岩戸北2-20-3	3488-6119
	⑩ CAFE&SPACE PushPull	岩戸北4-16-8	5497-3303
	⑪ ENCHANTÉ	猪方1-10-10	4291-5714
	⑫ the sacca café	駒井町1-8-2 storyteller bld. 1F	6752-4940

※各参加店舗の定休日、営業時間はスタンプブックに掲載